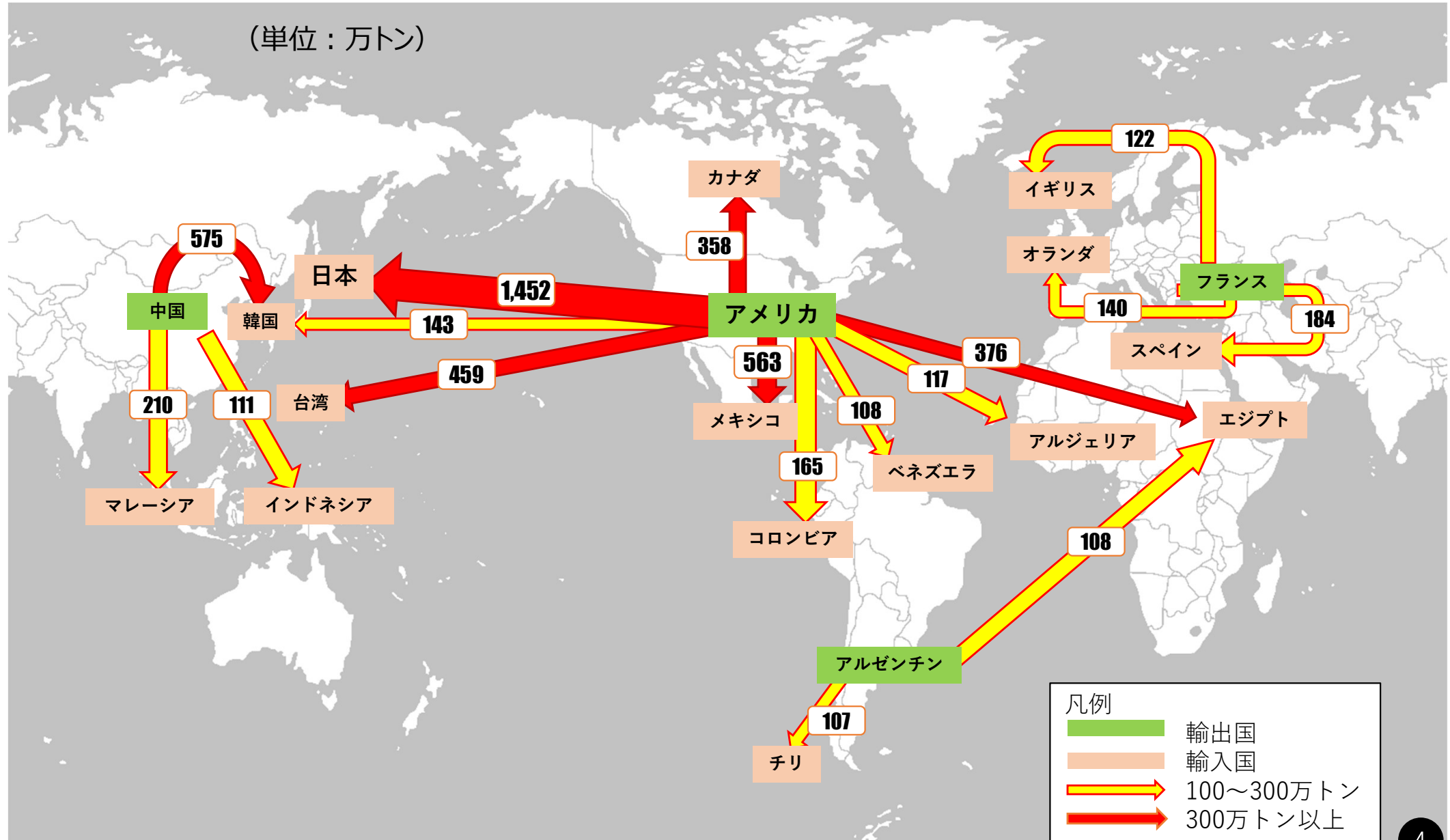


4 とうもろこしの需給動向と貿易フローの変化：2002年とうもろこし貿易フロー図

2002年（前後3か年平均）の輸出量シェアは、米国が60%と圧倒的に高く、次いで中国が13%、アルゼンチンが12%と続く。また、輸入量におけるシェアは、日本が22%を占め、次いで韓国、メキシコ、エジプト等が続く。

(USDA PS&D Online data)

注：Global Trade Atlasのデータ（2020.01）で、とうもろこし(HS1005)の輸出上位5か国から、100万トン以上輸出している貿易フローを作図



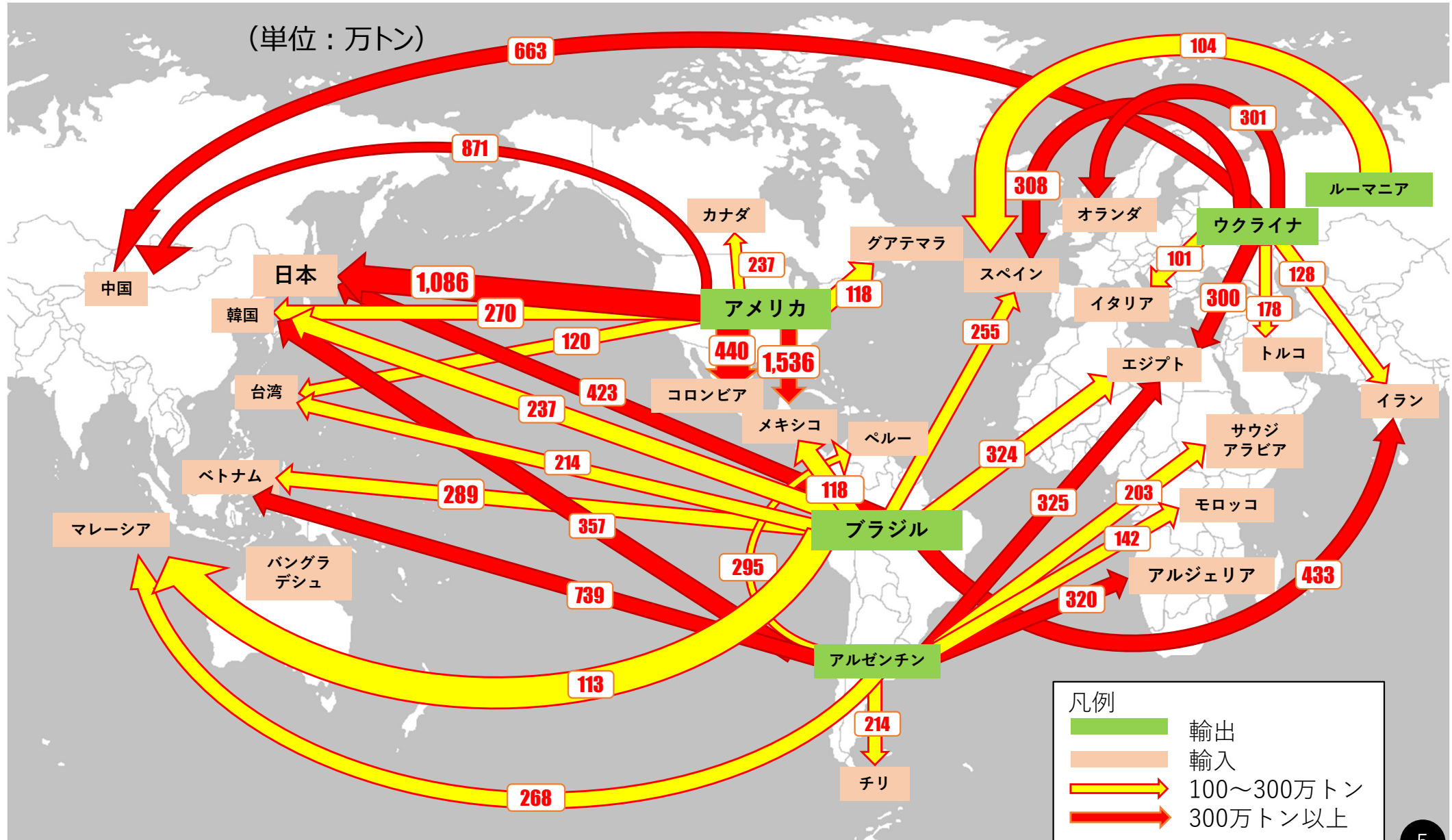
注：レイアウトの関係から実際の国の地理上位置とは異なる場合がある。

5 とうもろこしの需給動向と貿易フローの変化：2020年のとうもろこし貿易フロー図

2020年（前後3か年平均）の輸血量シェアは、ブラジルとアルゼンチンが大幅に高まっている。輸入量シェアは、日本が9%まで低下する一方、かつての純輸出国であった中国のシェアが11%まで増加。

(USDA PS&D Online data)

注：Global Trade Atlasのデータ（2023.01）で、とうもろこし(HS1005)の輸出上位5か国から、100万トン以上輸出している貿易フローを作図



注：レイアウトの関係から実際の国の地理上位置とは異なる場合がある。